

信州の農業

発行所  
長野市大字栗田2142番地  
長野県農業卸商業  
協同組合  
TEL.(026)228-5730  
FAX.(026)228-5818  
定価 1部50円(税込)

■随筆■  
「アグロカネシヨウの栗木です」  
アグロカネシヨウ株式会社  
関東支店 中部営業所 栗木淳寛



平素より大変お世話になっております。アグロカネシヨウ株式会社の栗木淳寛(あつひろ)と申します。2022年に新卒入社し、同年10月より長野に勤務しております。どうぞよろしくお願いいたします。

勝手ではございますが、まだお会いできていない方もいらっしゃると思いますのでこの場をお借りして自己紹介をさせて頂ければと思います。私は福岡県の出身です。福岡といえはラーメンやもつ鍋、うどんといったグルメが人気ですが、多分に漏れず私も細くかたい麺の豚骨ラーメンと甘い脂が出たもつ鍋、「うどん」とも呼ばれる柔らかくコシのないうどんが好きです。農業場面では、地元久留米市は植木・苗木の生産が盛んです。現在は2025年の大阪・関西万博に整備される「静けさの森」の植栽工事に向けて準備が進められている模様です。また果樹では長野には到底及びませんが、巨峰やシャインマスカットをはじめとしたぶどうや、富有柿や太秋などの柿も栽培されています。観光農園が多く、シーズン中

にはぶどう、柿、みかん、無花果狩りに沢山の方が訪れます。昨年7月に豪雨による大水害に見舞われ、作付けできなくなった農地もあるようで胸が痛みますが、次第に復旧している様です。

趣味は体を動かすことで、夏場は草野球やゴルフ、冬にはスノーボードを楽しんでおります。特に私はこれまで広島のスキー場しか味わったことがなかったため、長野の雪質に魅了されてスノーボードに熱中しています。昨シーズンは志賀高原や白馬などのスキー場を度々訪れ、滑走距離はちよつと地元福岡と長野とを結ぶ距離となりました。

長野に赴任して1年が過ぎましたが、長野はたくさんの魅力がある県だと感じています。一つ目は、美味しい食べ物です。やはりりんごは格別で、シャリ感ある食感がとても好みます。九州では一般的に柔らかいりんごが出回っていましたが、りんごが「ボケる」という表現もこちらに來て学びました。またレタスやセリリなどの高原野菜も美味しく、贅沢を感じます。他にも、お米や日本酒のおいしさにも驚きました。過去にスキー場近くの宿に宿泊した際には、お米が美味しく何度もお代わりしたことを覚えております。また各地方の酒蔵でこだわって作られた特有の日本

酒も美味しく嗜んでおります。そして、長野県の自然豊かな絶景も魅力的です。これまでに塩尻市の高ボッチ高原や高山村の名勝 雷滝、松川溪谷などをドライブで訪れました。そのほか、上高地や御射鹿池など有名な絶景スポットがたくさんあるので、訪れてみたいのです。他にも良いスポーツがあればぜひ教えていただきたいと思っています。

長野県は果樹、葉菜、花きなど複数の品目で生産量が多く、私はそのような長野県で農業の発展に携われることをうれしく思います。まだまだ栽培や農業について知識が浅いですが、これから栽培、農業、生産者の方の気持ちや考え方など広く感じ取り学び、いち早く生産現場に貢献していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い致します。

最後になりますが、いつもバスアミドやヨーバル、クラブロシールドをはじめとする弊社商品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。今後一層お役に立てるように取り組んでまいります。変わらぬお付き合いのほど、どうぞ宜しくお願いいたします。

プロフィール  
2022年4月入社 結城事業所勤務  
2022年10月から長野勤務

病害虫・雑草防除基準の解説

野菜・花き

病害虫防除所 中南信担当 主任 嵯峨裕之

令和6年版農作物病害虫・雑草防除基準の野菜・花きに関する主な改正点を解説する。

野菜類に関する主な改正点

1 令和6年版に新たに追加された農薬  
推奨農薬として追加された農薬  
オリゼメート粒剤(ねぎ)、カスミンバリダシン液剤(キヤベツ)、カスガマイシン・銅水和剤カスミンボルドー・\*カッパーシン水和剤(トマト、ミニトマト)、スワルスキーカブリダニ製剤スワルスキープラスUM、スワルバンカーロング(いちご)、ダコニール1000(せんぶり)、ディアナSC(カリフラワー)、ネクスターフロアブル(はくさい)、プロフレアSC(はくさい)、ペンレート水和剤(せんぶり)、マスタピース水和剤(トマト、ミニトマト)、ランマンフロアブル(キャベツ)。

\*カスミンボルドー(トマト)は、推奨農薬として掲載されたため参考農薬から削除された。

2 参考農薬として追加された農薬  
アミスター20フロアブル(ねぎ)、ジマンダイセン水和剤(たまねぎ)、ダコニール1000(ねぎ、ながいも)。

\*\*\*ダコニール1000(ながいも)は、炭疽病対象で推奨農薬として既に掲載されているが「葉決病」対象として新たに参考農薬として掲載された。

3 令和6年版から削除された農薬  
登録失効または製造中止に伴い防除基準から削除された農薬

アドバンテージ粒剤(ピーマン)、スプラサイド水和剤(なす、ピーマン、すいか、メロン)、マラバッサ乳剤(なす、ピーマン、きゅうり、メロン、すいか)、バイオキパー水和剤(野菜類、ズッキーニ、カリフラワー、ブロッコリー、はくさい、チンゲンサイ、のぎわな、レタス、非結球レタス、セリリ、パセリ、だいこん)、ベジキパー水和剤キヤベツ、ブロッコリー、はくさい、レタス、非結球レタス)。

4 令和6年版から記述内容が一部変更された農薬  
アアフェットフロアブル  
登録内容の変更に伴い、備考欄にはなやさい類を追加(ブロッコリー)。

5 グレーシア乳剤  
使用方法に「株元灌注」を追加。

6 セイビアフロアブル20  
登録内容の変更に伴い、使用時期を収穫前日までに変更(キャベツ)。

7 エンタリー顆粒水和剤  
登録内容の変更に伴い、備考欄の「野菜類(はくさい)を除く」を削除キヤベツ。また、「野菜類、トマト、ミニトマト、カリフラワー、ブロッコリー、チンゲンサイ、こまつな」の備考欄「野菜類(はくさい)を除く」を野菜類(はくさい、キャベツを除く)に変更。

8 花き類に関する主な改正点

1 令和6年版に新たに追加された農薬  
該当なし。

2 登録失効に伴い令和6年版から削除された農薬  
スプラサイド水和剤(プリムラ)。

3 令和6年版から参考農薬となった農薬  
ダコニール1000(りんどう)、ベフラン液剤25(りんどう)。

4 除草剤に関する主な改正点

1 登録失効となったため、防除基準から削除された農薬  
アデュアル乳剤(かぶ)、コダール水和剤(にんじ)。

2 なお、農薬の使用にあたっては、最新の登録内容をよく確認し、希釈倍率等は農薬使用基準を確認する。

葉面散布用カルシウム肥料

ストピットII

STOPIT THE SECOND

果実のカルシウム欠乏症の予防、品質向上に

炭酸カルシウム水和剤

農薬登録No.9385

CLEF-NON

りんご、カキ、ナシの果面保護に

資料請求先

白石カルシウム株式会社

食品アグリ資材G/〒104-0031 東京都中央区京橋1-11-1 TEL. 03-3538-2354

りんご・かき・ブドウの病害に

ビオネクト

コスカシバ・ブドウトラカミキリの特効薬

トラサイドA 乳剤

無機銅と硫黄の殺菌剤  
ポジティブリストの対象外  
ぶどうのべと病、晩腐病対策に

園芸ボルドー

刺激が少なく使いやすい総合土壌くん蒸剤  
除草、病害虫、センチュウ防除に

キルパー

サンケイ化学株式会社

東京本社 東京都台東区上野7-6-11 TEL. 03-3845-7951(代)

ダコニール 1000

「ダコニール」、「ダコニール1000」は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

病害の予防・同時防除・  
ダコニール1000 が  
コスト削減の第一歩！

70種類以上の作物、  
およそ180種類の病害に登録

病害防除に役立つ情報を  
写真とイラストで紹介

ダコニール倶楽部  
Daconil Club

株式会社エス・ディー・エス バイオテック

当 面 の 技 術

3月・4月の病害虫対策

りんご・ぶどう・もも

果樹試験場 技 師 野澤亮史(病害)  
研究員 石井伸洋(虫害)

◆りんごの病害

○リンゴ黒星病

展葉期から落花期にかけて、リンゴ黒星病の重点防除時期となる。

展葉期にはベフラン液剤25を散布し、開花直前の防除まで期間が空く場合には、アントラコール顆粒水和剤、パスポート顆粒水和剤を追加で散布する。パスポート顆粒水和剤については、散布時期が遅れると果実のサビを生じる場合があるため、注意する。開花直前にはミギワ20フロアブ

ルまたはユニックス顆粒水和剤、落花直後にはSDHI剤を散布する。また、DMI剤とQOI剤については、耐性菌が確認されているため、黒星病防除としては使用しない。○リンゴ腐らん病 本病は薬剤散布のみでは対策が困難であり、耕種的防除など総合的に防除していく必要がある。

発芽前の防除は、せん定後の傷口に腐らん病菌が感染しないようにする効果が主となる。

3月・4月の病害虫対策

野菜・花き

野菜花き試験場

技 師 藤 結宇(病害)  
研究員 山岸 希(虫害)

【病害】

3～4月は低温過湿条件を好む病害が発生しやすい。凍霜害等による傷口が発生を助長する。各種病害の発生や天候を注視した栽培管理に努めていただきたい。

【灰色かび病】

本病害はBotrytis(ボトリチス)属菌による糸状菌病害である。多犯性(多くの植物に感染する)病害のため、トマトやイチゴなど果菜類、花き類などの施設栽培の品目だけでなく、露地葉野菜類でも広く問題となる。植物体の傷口や老化葉に感染すると植物体を褐色水浸状に腐敗させ、その後灰色のビロイド状のカビが見られることからその病名がついている。

病原菌は、枯死した植物体や雑草、コケなどを住みかとして、は場やハウス内で残存

大きい傷口にはせん定後すぐに塗布剤を塗り保護することが重要であるが、細かい枝すべてにペースト塗布することは不可能であるため、発芽前防除を実施することで傷口を保護できる。薬剤としては、石灰硫黄合剤、ベフラン液剤25、トップジンM水和剤、ベンレート水和剤の効果が高い。

また、発芽のタイミングは腐らん病に感染し、枯死した枝や樹を見分ける絶好の機会であることから、見つけ次第、せん除や削り取りを実施する。地域全体で菌密度を低下させることが重要であるため、地域を挙げての一点検を実施し、感染リスクを下げて頂きたい。また、削り取りやせん除によって発生した罹病部は拾い集めて焼却するか土中に埋めるなどする。

◆りんごの害虫

○リンゴハダニ

リンゴハダニは、枝の分岐部や芽の基部、樹皮のくぼみ等に赤色で微細な卵を産み付け越冬する。本種の越冬卵に対し、マシンの油乳剤の50倍液が有効であるため、発芽前に散布する。

○ナシマルカイガラムシ

本種は枝や幹、葉、果実に寄生する。枝にびっしり寄生すると枝が枯れることがある。

トニア属菌や灰色カビ病も菌核を形成することから、菌核の確認＝菌核病ではないことに注意する。リゾクトニア属菌の菌核はやや平板で不整形であり、灰色カビ病菌の菌核は微小菌核であることが多いため、病徴の違いに留意する。

【虫害】

◎ハダニ類

主に施設栽培で問題となる。冬季に施設内で越冬していた個体や、育苗中に発生して持ち込まれた個体が、施設内の温度上昇とともに増殖する。3月定植の夏秋どりいちごの場合、苗で持ち込んだ個体が定植後に増殖し、4月上旬には施設内全体に蔓延しているといったことも起こりうる。加えて本年は暖冬傾向であり、越冬個体も多い可能性がある。

ハダニ類は増殖力が強いいため、発生初期の防除が肝要である。栽培前に施設内・周囲の環境整備等、耕種的防除を行うほか、栽培開始後には葉裏を中心にハダニ類の有無を確認し、生息が確認された場合は速やかに防除を行う。

◎アブラムシ類

野外の広範な雑草で増殖し、施設内の野菜や、定植後の露地野菜等を吸汁加害する。加えて、アブラムシ類はTMV(カブモザイクウイルス)などのウイルスを媒介するほか、高密度になると茎葉の萎凋症状や排泄物に由来する汚れ(すす病)が発生する。葉野菜類産地で標高1000m以下の準高冷地および平坦地では3、4月はレタス、温暖地ではハクサイ春播きハウス育苗)の定植となる。育苗施設の開口部には防虫ネット(0.8mm以下)を展開し、有翅虫の侵入を防止する。また、雑草にも寄生するため、施設内の雑草を除去する。殺虫剤のセルトレイ処理や定植時植穴処理により、定植後の生育初期は安定した防除効果が得られる。

◎コナガ

高冷地では5月以降に発生が増加するが、標高800m以下の地域では4月でも定植後から幼虫の食害がみられる。育苗中は寒冷紗や防虫ネ

また、果実に寄生すると寄生部周辺がリング状に赤紫色となる。本種は近年増加傾向にあるため、枝幹部に寄生が認められる場合は休眠期にマシン油乳剤を散布する。なお、マシン油を重複散布すると葉害を生じることがあるので注意する。また、多発樹ではブラシ等で物理的に枝幹部から虫を除去し、密度を下げた上で散布する。

◆ぶどうの病害

○ブドウ黒とう病

欧州系品種は本病に弱いため、春先における休眠期防除の要点を紹介する。本病は前年度罹病した病斑内で越冬し、春先に水を得ると胞子を形成、飛散し感染する。これを防ぐために休眠期防除が重要である。薬剤としては、

◆ぶどうの害虫

○クワコナカイガラムシ

前年に本種の被害がみられる

は速やかに防除を行う。

◎アブラムシ類

野外の広範な雑草で増殖し、施設内の野菜や、定植後の露地野菜等を吸汁加害する。加えて、アブラムシ類はTMV(カブモザイクウイルス)などのウイルスを媒介するほか、高密度になると茎葉の萎凋症状や排泄物に由来する汚れ(すす病)が発生する。葉野菜類産地で標高1000m以下の準高冷地および平坦地では3、4月はレタス、温暖地ではハクサイ春播きハウス育苗)の定植となる。育苗施設の開口部には防虫ネット(0.8mm以下)を展開し、有翅虫の侵入を防止する。また、雑草にも寄生するため、施設内の雑草を除去する。殺虫剤のセルトレイ処理や定植時植穴処理により、定植後の生育初期は安定した防除効果が得られる。

◎ネキリムシ類

カブラヤガ、タマナヤガ等の幼虫の総称であり、植物付近の地中に生息する。幼虫越冬をするため、春の比較的早い時期から被害がみられる。作物を株元から噛み切り、地中に引き込んで摂食する。出芽後または定植後に一部の株が倒れ、株元に噛み切られたような痕があれば本種による食害の可能性が高い。被害株があった場合は周辺を掘り幼虫を捕殺するほか、株周辺に対象作物に登録のあるベイト剤を散布する。また、耕作放棄地や雑草地に隣接した圃場では被害が大きくなるため、定植時に殺虫剤(土壌処理剤または苗灌注剤)を使用する。

では、デフランフロアブル、石灰硫黄合剤があるが、石灰硫黄合剤を散布する場合は、晩腐病対策として、ベフラン液剤25またはベンレート水和剤も散布する。また、結果母枝や巻きひげの病斑は3年程度伝染源となるため、見つけ次第速やかにせん除する。

○ブドウ晩腐病

本病は樹上で菌糸の形で越冬している。黒とう病の防除も兼ね休眠期防除を徹底する。薬剤としては、デランフロアブル、パスポート顆粒水和剤、ベフラン液剤25、ベンレート水和剤の効果が高い。また、前年の巻きひげ、穂柄等が伝染源となるため除去する。

◆ももの病害

○モモせん孔細菌病

昨年は、東北信地域において発生が多かった園地があった。前年の発生が多かった場合は、越冬伝染源量も多くなることから、今年も気を緩めずに対策を徹底する。

ツトを活用し、成虫の飛来、産卵を防止する。なお、一般的にべた掛けよりもトンネル掛けの方が有効であるとされる。アブラムシ類防除と同様に、殺虫剤のセルトレイ処理や定植時植穴処理が有効である。ジアミド系薬剤に対する抵抗性が確認されているため、薬剤の選定に注意する。

◎ネキリムシ類

カブラヤガ、タマナヤガ等の幼虫の総称であり、植物付近の地中に生息する。幼虫越冬をするため、春の比較的早い時期から被害がみられる。作物を株元から噛み切り、地中に引き込んで摂食する。出芽後または定植後に一部の株が倒れ、株元に噛み切られたような痕があれば本種による食害の可能性が高い。被害株があった場合は周辺を掘り幼虫を捕殺するほか、株周辺に対象作物に登録のあるベイト剤を散布する。また、耕作放棄地や雑草地に隣接した圃場では被害が大きくなるため、定植時に殺虫剤(土壌処理剤または苗灌注剤)を使用する。

た園では粗皮削りを行い、白綿状の越冬卵を除去する。特に、短梢栽培では主幹・主枝以外に芽座の基部周辺に越冬卵が多く確認されるため、丁寧に行う。

○ブドウサビダニ

本種の発生量が多いと、生育期に葉表の葉脈に沿って葉色が薄黒色に変わる。本種は成虫が新梢の芽の毛じ内や粗皮下で越冬する。本種に対し、石灰硫黄合剤の10倍液が有効であるため、休眠期に散布する。

◆ももの害虫

○モモせん孔細菌病

昨年は、東北信地域において発生が多かった園地があった。前年の発生が多かった場合は、越冬伝染源量も多くなることから、今年も気を緩めずに対策を徹底する。

ツトを活用し、成虫の飛来、産卵を防止する。なお、一般的にべた掛けよりもトンネル掛けの方が有効であるとされる。アブラムシ類防除と同様に、殺虫剤のセルトレイ処理や定植時植穴処理が有効である。ジアミド系薬剤に対する抵抗性が確認されているため、薬剤の選定に注意する。

◎ネキリムシ類

カブラヤガ、タマナヤガ等の幼虫の総称であり、植物付近の地中に生息する。幼虫越冬をするため、春の比較的早い時期から被害がみられる。作物を株元から噛み切り、地中に引き込んで摂食する。出芽後または定植後に一部の株が倒れ、株元に噛み切られたような痕があれば本種による食害の可能性が高い。被害株があった場合は周辺を掘り幼虫を捕殺するほか、株周辺に対象作物に登録のあるベイト剤を散布する。また、耕作放棄地や雑草地に隣接した圃場では被害が大きくなるため、定植時に殺虫剤(土壌処理剤または苗灌注剤)を使用する。

がかかるものの、一次伝染源を減らし、園地内の菌密度を低下させることができる有効な手段であるため、必ず実施する。

・薬剤防除

開花初めはせん孔細菌病の重点防除時期となる。多発園ではこの時期にICボルドー412または412式ボルドーを必ず散布する。

○モモ縮葉病

昨年は生育が前進したことにより散布タイミングを逸した園地が多かった。本病の防除は秋冬期・発芽前の防除を1回行っただけで十分防除ができることから、枝の先端まで薬剤がかかるように散布する。散布する日は無風の日を選び、散布ムラが無いようにする。

◆ももの害虫

○コスカシバ

本種の発生園で秋期防除を実施していない場合は、開花期までにフェニックスフロアブルの500倍液を地際部から地上1m位までの樹幹及び主枝に散布する。なお、樹幹散布の使用回数は1回なので注意する。また、交信かく乱剤スカシバコンシも有効であるため、4月下旬頃に10a当たり50本を設置する。

グレースシア<sup>®</sup> 乳剤

速く効く

有効成分が直接害虫に作用するから、作物が食べられる前に駆除できる。

幅広い害虫に効く

チョウ目害虫やアザミウマなど 広範囲の“害虫”に効果。

新登場!! 5L大型規格

日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号  
ホームページ <https://www.nissanagro.net/>  
お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00~17:30 土日祝除く)

## 3月から6月の病害虫対策

### 水稲・小麦

農業試験場 技師 島上卓也(病害) 阿曾和基(虫害)

#### (水稲・病害)

イネばか苗病は子う菌類のカビ(フザリウム属)によって引き起こされる病害である。本病は、種子伝染性であり、採種圃場の審査で発生が確認されると不合格になるため、水稲種子を生産する上で最も重要な病害である。本病原菌の胞子は、少なくとも100m程度は飛散するため、採種圃場はもちろんのこと、その周辺圃場を含め、防除の徹底や徒長株の抜き取りが重要である。

罹病株は黄化、徒長し、重症株は枯死する。種子伝染以外にわら等の植物残渣も伝染源となる。枯死株の株元には、白色またはピンク色の粉状物(菌叢)が作られ、菌叢上の分生胞子が風雨によって飛散し、開花期以降に初に感染する。ばか苗病防除には種子消毒が最も有効である。採種圃場



【質問】水田のホタルイの効果的な防除方法を教えてください。

【回答】

水田で最も一般的なホタルイはイヌホタルイで、湿地やため池などでも生育します。ホタルイは株基部で越冬し、翌春に萌芽する多年生ですが、水田では殆どが種子で繁殖します。外見は、同じカヤツリグサ科の多年生雑草であるクログワイと似ています。クログワイは茎内部に隔壁があり、外から押すとプチプチと音がします。ホタルイは空洞で音がしないため、判

発病する病害で、減収の要因となるだけでなく、病原菌が人畜に対する毒素(マイコトキシン)を産生する小麦の重要病害である。農産物検査法等により赤かび粒の混入や毒素の残留が厳しく規制されているため、常に発生を警戒する必要があります。

昨年、一部の地域では販売・流通上の問題となるような被害が発生した。本病は開花期以降の高温多雨条件で発病が助長され、昨年は5月下旬、6月上旬に感染に好適な条件が複数回観測された。播種期の遅かった圃場、凍霜害を受けた圃場では5月中旬以降に開花期となったため、

イネもみ枯細菌病(苗腐敗症)も警戒が必要な種子伝染性病害である。本菌の発病適温は30℃以上と高温であるため、耕種的対策として催芽・出芽温度を28℃に下げることが有効である。薬剤防除は、種子消毒のテクリードCフロアブル、播種時処理のカスミン剤(液剤、粒剤)の体系処理が有効である。

(小麦・病害) コムギ赤かび病はカビ(フザリウム属)によって穂に別は比較的容易に行えます。具体的な防除方法としては、ホタルイに対する有効成分である、ブロモブチド、ベンゾシクロン、メタゾスルフロン、ジメタメトリン、フェンキントリオンなどを含有した除草剤を選択すると、効果的に行えます。

(農業試験場作物部 土屋学)

【質問】ハウスの果菜類でネズミの被害が多く、キユウリ・トマトの果実だけでなく根の被害もあります。殺鼠剤を使っても効果がありません。対策を教えてください。

【回答】

施設果菜類の野ネズミ対策としては①毒餌法、②捕獲法などがあります。

膜胞子が充滿する。農産物検査の基準として、発病粒の混入率は0.1%が最高限度とされている。また、子実を潰すと海産物や干物を連想させるような、なまぐさい臭いがある。病粒が混入すると収穫物全体を汚染し、健全粒の品質・商品価値を下げるため、経営上、影響の大きな病害である。

本病は、種子伝染及び土壌伝染するため自家採種種子の使用や連作により圃場内の菌密度が上昇する。本病原菌は、発芽・生育初期に感染するため、晩播にすると出芽までの期間が長くなり感染が助長される。

本病には、種子消毒が高い防除効果を示すため、果防除基準を参考に種子消毒を実施する。多発圃場では2〜3年水稲や大麦など、小麦以外の品目へ転作する。畑地の場合、転作物物の栽培期間においても、こぼれ種由来の罹病株は抜き取り処分する。自家採種を行わず、汚染されていない購入種子を用いる。耕起はプラウによる反転耕及び口

毒餌法の場合、薬剤により使用方法が異なり、正しく使用しないと効果が上がりません。代表的な薬剤である「ヤソヂオン」の場合、10〜20gの小袋詰を野ネズミの穴に1袋投入するか、ネズミの通路に配置します。「ヤソヂオン」は、1〜2回程度食べさせただけでは効果が無く、3〜4回連続して食べさせ累積毒により効果を発揮させます。

したがって、喫食(餌が無くなる)を確認したら、薬剤を補給します。このほかには、「リン化亜鉛粒剤(商品名、メリーネコりん化亜鉛)」があります。この薬剤は所定量を野ネズミの穴に投入し、ネズミが喫食すると胃酸と混ざり毒性の強いリン化水素ガスが発生し、中枢神経を侵し呼吸困

難を引き起こして死亡させます。これら毒餌法の場合、野ネズミの餌が豊富にある時期は喫食が悪く、効果が低くなる点に留意します。なお、毒餌を使用する場合は必ずラベルを確認し、適用登録の内容にしたがって適正に使用してください。

捕獲法には、パチンコ(板バネ式で挟んで捕獲)や粘着板で捕獲する方法などがあります。パチンコは活動穴近くに4〜5日間連続して仕掛けます。使用する餌は被害が発生している作物の果実などを用います。粘着板は、ネズミ穴が少ない時期である夏の捕獲に有効で、施設内の野ネズミの通路と思われる場所に設置します。粘着板に誘引させるため、板の中央部に野ネズ

ミが好みそつな餌を複数置くことで、捕獲率が向上します。野ネズミの防除効果を高めるには、今回紹介しました毒餌法と捕獲法の両者を組み合わせることが有効と考えます。ネズミの被害にお困りの場合は、参考にしてみてください。

(野菜花き試験場 木下義明)

トピックス

農業安全コンサルト 協会総会開催される

(一社)日本植物防疫協会主催の研修を終了した者で組織する長野県農業安全コンサルト協会(会長 廣田圭亮・会員数77名)の平成6年度(第45回)総会が1月24日に長野市で開催されました。

注意すべき害虫としてヒメトビウンカがある。近年、西日本や関東地方の一部では、ヒメトビウンカが媒介するイネ縞葉枯病が増加傾向にあり、問題となっている。本県においては1970年代以降、イネ縞葉枯病はほぼみられなかったが、平成30年に東信地域の一部で発生が確認されて以降、現在も発生が継続している。ヒメトビウンカは幼虫が麦やイネ科雑草で越冬し、麦で発生した第1世代成虫が水田に飛来する。縞葉枯病ウイルスはヒメトビウンカに経卵伝染し、第1、第2世代の保毒虫が移植期から分けつ

期のイネにウイルスを感染させる。防除対策としては、ウンカ類に効果の高い苗箱薬剤が有効である。このほか、ヒメトビウンカの越冬量を減らすため、越冬場所となる休耕田の秋耕・畦畔雑草の草刈りを行うことも重要である。また、麦類作付圃場は第1世代幼虫の生息地となる場合が多い。麦類作付地域ではイネ縞葉枯病の発生動向に特に注意する必要がある。

総会に先立ち、殺鼠剤専門のメーカーである大丸合成薬品株式会社長野市松代町豊栄品質管理部長の松下明文氏による「殺鼠剤について」と題して、自社製品の「ラットシールドF」(令和2年10月28日農薬登録)を主とした解りやすい説明がありました。

「ラットシールドF」の特長は、①とにかくよく食いつくこと②全農地、倉庫(納屋)で使えること③普通物であり取り扱いと安全性に優れていること等です。地元長野県の農家のご協力のもと、効果試験を重ねて生まれた製品です。

引き続き総会が開催され、令和5年度事業報告並びに決算、令和6年度事業計画並びに収支予算等が承認されました。(信州の農業事務局)

農林水産省登録 第24422号

想像を超える

殺虫剤 チョウ目・ハムシ専門剤

プロレア<sup>SC</sup>

三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

とうもろこし畑の雑草防除に!

ブルーモアフロアブル

WEED KILLER

問題雑草の“イチビ”や“イヌホオズキ”にも優れた効果を示します。

石原バイオサイエンス株式会社

東京支店 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号 TEL 03-6256-9190 FAX 03-3237-0571

BASF We create chemistry

果樹の強い味方! BASFの4製品が守ります

2成分の力で主要な夏期病害を防除

ナリア<sup>WDG</sup> 殺菌剤

果樹の基幹防除剤

デラン<sup>フロアブル</sup> 殺菌剤

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階 03-20-014-060 https://crop-protection.basf.co.jp/

ハマキムシ類・モモハモグリガ・ハダニ類の防除に

カステード<sup>乳剤</sup> 殺虫剤

果樹園の下草防除に

バスター<sup>除草剤</sup> 除草剤

詳細はWEBでもご覧いただけます。

©BASF社の登録商標

病害虫・雑草防除基準の解説

水稲・普通作物

病害虫防除所 中南信担当 主任 内田英史

令和6年長野県農作物病害虫・雑草防除基準の主な改正点は、県農業関係試験場の新しく普及に移す農業技術となった農薬の追加、登録失効などに伴う削除、防除技術の追加、修正などである。

1. 病害虫防除

(1) 水稲

① 追加、削除された主な農薬

以下の農薬を追加した。

・プロベナゾール含有箱粒剤(16%)【Csオリゼ等】

・オリゼメート顆粒水和剤

・メトミノストロビン含有粒剤(4%)【イモチエース】

登録が失効した以下の農薬を削除した。

・アチーブ粉剤D L

・キタジンP粒剤

・フジワン粉剤D L

・MR・ジョーカー粉剤D L

・SMバツサ粉剤20 D L

・SMバツサ乳剤75

薬剤耐性イネいもち病菌の出現により以下の農薬を削除した。

・トリフミン乳剤

② 追加された防除技術

【種子育苗期】

・イネいもち病(葉いもち)防除にプロベナゾール16%含有苗箱施薬剤(Cs・オリゼパディート箱粒剤、Cs・オリゼリディア箱粒剤、Cs・オリゼリディアEV箱粒剤)を移植当日に育苗箱当たり50gを均一に処理する。

常習発生地や8月上旬に上位葉に葉いもちの発生が認められる場合、あるいは発生予想により穂いもちの多発が予想される場合には穂いもち防除を必ず行つ。穂いもちの防除要否判定は「イネいもち病(穂いもち)の防除要否の判断を支援するための目安(平成26年第2回試行技術)」を参

考にする。

【移植時】

いもち病防除にオリゼメート顆粒水和剤を10 aあたり500gになるようにペースト肥料に混合して側条施用する。(漏水田では使用しない。また移植後は活着するまで湛水状態に保つ。

(2) 麦類

① 追加、削除された主な農薬

以下の農薬を追加した。

・Zボルドー

・コロナフロアブル

・サルファアザール

・シードラック水和剤

・ミラビスフロアブル

(3) とうもろこし(スイートコーンを含む)

① 追加された主な農薬

以下の農薬を追加した。

・オルトラン水和剤

・ベネビアOD

(4) だいず

① 追加された主な農薬

以下の農薬を追加した。

・グレーシア乳剤

(5) あずき

① 追加、削除された主な農薬

参考農薬として以下の農薬を追加した。

・スミチオン乳剤

・トレボン乳剤

登録が失効した以下の農薬を削除した。

・マランソ粉剤1・5

2. 雑草防除

(1) 水稲

① 追加、削除された主な農薬

以下の除草剤を追加した。

・アカツキ1キログラム

・イネリーグフロアブル

・クサウエボン1キログラム

・クサウエボンジャンボ

・サキガケ楽粒

・サラブレッドGOジャンボ

・サラブレッド

GO400FG

・ジャイロフロアブル

・ジャスター1キログラム

・ジャスタジャンボ

・ツイゲキ豆つぶ2550

・粒状石灰窒素55

登録が失効した以下の農薬を削除した。

・キルクサ1キログラム

・クサトリートBSX

フロアブルL

・クサファイター1キログラム

・クミスター豆つぶ

・クミメートSM1キログラム

・シリウスターボジャンボ

・ダブルスターSB顆粒

・タンボエースジャンボ

・ナギナタ1キログラム

・ビッグシユアエース1キログラム

・ボッシブル1キログラム

② 追加された防除技術

【移植水稲の初中期除草剤】

・アカツキ1キログラムを移植直後ノビエ3葉期(但し、移植後60日まで)までに処理する。ノビエなどの一年生雑草に有効である。

・ツイゲキ豆つぶ2550を移植後14日(稲5葉期以降)ノビエ4葉期(但し、収穫60日前まで)に処理する。ノビエなどの一年生雑草に有効である。

【水稲刈り取り後の除草剤】

・粒状石灰窒素55を水田作物刈取後に散布する。土壌表面の雑草イネを死滅させるのに有効である。

追加した除草剤はそれぞれ除草体系・除草剤の使用方法に記載した。

なお、今回は農薬個々の登録内容については掲載を割愛した。農薬の使用にあたっては、最新の登録内容をよく確認していただきたい。

誘蛾灯

壮大な話

宇宙について調べたり想像することが割と好きだ。現宇宙は約138億年前に「無」から生じ、インフレーションの後ビッグバンを経て、誕生後約38万年で原子が誕生し(宇宙の晴れ上がり)、約3億年で星が出来、以後離合集散等を経て今日に至ることは多くの人の知るところ。想像しがたいが、「無」は時間も空間もエネルギーもなく、何も無いという概念も無い」で宇宙創成以前を考えることは、ほぼ意味が無い(よつた)。

現宇宙は、あまりにも都合よくできているらしい。適度な物質の質、量、エネルギーがあり、生命が生じ得る。それは現宇宙の素粒子の性質がそうさせているらしく、素粒子の性質がわずかに異なると全く異なった宇宙、たとえば電磁波だけの宇宙とか、水素しかない宇宙もあり得る。宇宙がとり得る物理法則的には、少なくとも見ても10の500乗種以上の宇宙が考えられる。親宇宙から子宇宙、

我が社の自慢の製品

日本農薬株式会社

「フロストバスター」

平素は弊社の製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。今回は「信州の農業」の紙面をお借りいたしました。当社のBS(バイオステイミュラント)資材であります「フロストバスター」という凍霜害防止資材の特長などをご紹介させていただきます。

【フロストバスターとは】

まず始めに、フロストバスターとはどういった資材なのかを説明させて頂きたいと思えます。フロストバスターは、関西大学 化学生命工学部・生物工学化発祥のベンチャー企業が発見した「コーヒー由来成分の凍霜害のリスクを下げる資材で、生命科学の専門家に

孫宇宙・・・と言った具合に宇宙が生まれ続ける(永久インフレーション)らしい(諸説あり)。多元宇宙論はマルチバースとも言われ、ハリウッド映画が大好きな設定であるが、時間軸や空間軸や素粒子の性質も異なる宇宙間で相互干渉することは基本的にない。ハリウッド映画等よくある、スーパーヒーローの大集合や異世界からの訪問などあり得ない。

都合がよいと言えば、人類の存在もかなり珍しい。恒星と惑星の大きさや位置関係、自転・公転周期、衛星の存在など、かなりの偶然と生物の進化を伴わないと知的生命体は生まれにくい。以下は筆者の勝手な想像だが、銀河系内においては生物が発生する惑星は山ほどあるだろうが、(星間通信可能な)知的生命体が存在する惑星は、同時期には良くて数個程度であろう。宇宙は驚くほどスカルカ(星が離

が研究し、商品化されているものになります。また、このフロストバスターは公的機関の試験事例を持っている資材でございます。

ここ数年、果樹の大産地である長野県で春先の凍霜害が続いており、特に昨年4月以降の凍霜害による被害額は23億3200万円にも上ると言われております。設備(ファン・スプリングラー)が市販されているほか、不織布を掛ける、また夜を徹して焚火をするなどの対策が行われています。しかしながら、設備にかかる費用や効果、労働生産性の問題もあり、どれも凍霜害に対する決定打といえるものはないのが現状です。比較的安価で効果の高い防霜資材が求められている今、フロストバスターが注目を浴びています。このような状況が続いている中で、日本農薬は生産者の皆様の安定的な農作物

れすぎているので、いわゆる宇宙人との遭遇は永久にない」とみている。ワープ航法やジャンプ航法はSFだけの話。私的に少し残念なのは宇宙が加速膨張していることである。銀河団同士の移動速度はすでに光速を超えており、どんなに技術が発達しても別の銀河団には行けないことが現時点で確定している。加速膨張の結果、いずれ銀河系以外は観測できなくなる。

宇宙ではまれな存在であり、十分進化したはずの人類だが、生物としての本能なのか領土拡大を企図する人(国)もある。人類はまだ未成熟なよつた。つらい報道が多い世の中、宇宙のことを調べて現実逃避するのも悪くないと考える今日この頃でした。(moka)

生産に貢献できると考えております。

【フロストバスターの成分】

先ほども書かせて頂きましたが、フロストバスターはコーヒー粕抽出物に特殊な加工を加えた製品でございます。このコーヒー抽出物の中のポリフェノールが効果を発揮し、凍霜害のリスクを抑えます。このポリフェノールが過冷却促進活性を示し、低温になっても水分を凍結させません。また、このポリフェノールは水がでる原因となってしまうほこりなどを覆つことによって、氷の原因にならないようにする効果も示しています。使い方は、普段使っている農薬と同じように、500倍で希釈していただき、散布するといった形になっております。液剤になってるので、スピードスプレーヤーなどの散布機に汚れは残りません。

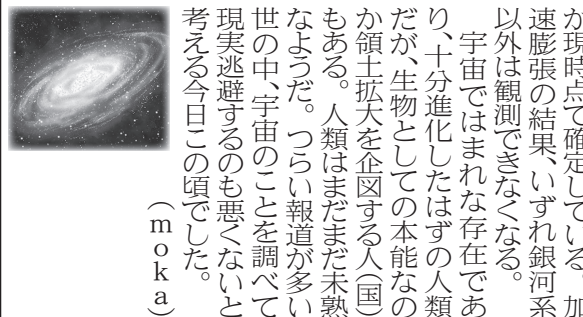
【フロストバスターの上手な使い方】

フロストバスターを使うことによって、凍霜害から守るために注意していただきたい点が3つあります。1つ目は低温予報の前日に散布していただくことになります。低温時に散布液が乾いていること

が効果を発揮する前提になっております。2つ目は先ほども書かせて頂きましたが、散布液が乾くまでの時間を確保するために、夕方以降の散布は避けてください。3つ目は1製品当たり20aを目安に散布していただくようお願い致します。農薬にも同じことが言えますが、作物全体が十分に塗れるように均一散布をお願い致します。

【最後に】

日本農薬はBS資材の普及・販売にも力を入れております。弊社ホームページにフロストバスターの特設ページ(https://www.nichino.co.jp/products/frostbuster\_index.html)もごさいます。関連記事やプロモーション動画も掲載しておりますので、一度足を運んでいただければ幸いです。果樹の大産地である長野県のために今後も農薬だけでなく、フロストバスターのようなBS資材と共に信州の農業を盛り上げ、作物の安定的な生産に貢献できるように引き続き製品開発・普及販売に尽力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



**フロストバスター**

凍霜害のリスクを下げるコーヒー由来の天然抽出物が長野県の果樹を守ります！

1

低温予報の前日に本剤を500倍に希釈して散布してください。

低温予報

2

散布液が乾くまでの時間を確保するために夕方以降の散布は避けてください。

散布OK!

散布NO

3

1製品あたり20aを目安に散布してください。

20a

**対象作物**

りんご なし もも おうとう かき 茶 その他果樹(花芽が霜害対象のもの)

**NICHINO**

日本農薬株式会社

東京都中央区京橋1丁目19番8号

フロストバスター特設ページはこちら！

https://www.nichino.co.jp/products/frostbuster\_index.html